

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 230-0044

住 所 横浜市鶴見区弁天町3-1

氏 名 JFE環境株式会社

印

代表取締役 塚本 英夫

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エヌエス・ユシロ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町6-12		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	R	サービス業(他に分類されないもの)
	中分類	88	廃棄物処理業
主たる事業 の内容	産業廃棄物の焼却処理		
事業者の規模	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		4,825 t - CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	川崎エコクリーン工場
		所在地	川崎市川崎区扇町6-12
	電話番号		044-366-5681
	FAX番号		044-366-5984
	メールアドレス		0
受付欄		事業者番号	
		特記事項	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 23年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号の通り
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号の通り
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号の通り
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号の通り
備考	平成23年7月1日吸収合併によりエヌエス・ユシロ株式会社は消滅したため、本報告は平成23年4月1日～平成23年6月30日のものである。

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 のある欄は、該当する 内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1号、第2号、第4号該当者等)

## (1) 温室効果ガスの排出の量の状況(排出係数固定)

## ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 27,189 t-CO <sub>2</sub> (調) 22,003	(実) 24,721 t-CO <sub>2</sub> (調) 21,250	(実) 4,825 t-CO <sub>2</sub> (調) 4,047	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) 26,373 t-CO <sub>2</sub> (調) 0
削減率		(実) 9.1 % (調) 3.4	(実) 82.3 % (調) 81.6	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調)

## イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	廃棄物焼却量		単位	t-CO <sub>2</sub> /トン	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.4753	0.3836	0.2708		0.4610
削減率		19.3 %	43.0 %	%	3.0 %

## ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	焼却炉の保全に努め、適切なメンテナンスを行うことにより9.1%削減することができた。
第2年度	平成23年7月1日吸収合併によりエヌエス・ユシロ(株)は消滅したため、4月1日～6月30日の実績である。 第1年度に実施した対策を継続し排出量は4,825 t-CO <sub>2</sub> であった。
第3年度	

## (2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)

平成23年7月1日吸収合併によりエヌエス・ユシロ(株)は消滅したため、4月1日～6月30日の実績である。算定期間が3ヶ月間と短いことから排出量は4,825 t-CO <sub>2</sub> であった。 尚、原単位では43.0%の削減であった。 これは算定期間に震災関連の商品系廃棄物が多く入荷し、結果として廃プラの入荷量(焼却量)が減少したことによるものである。
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

( 1 ) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 ( 第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等 )	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進体制の整備</li> <li>・ 主要設備等の保全管理</li> <li>・ 廃熱回収設備の保全管理</li> <li>・ 事務所等の空気調和の管理</li> <li>・ 照明設備の運用管理</li> </ul>
	第 1 年度	別添のとおり
	第 2 年度	別添のとおり
	第 3 年度	
自動車等 ( 第 3 号該当者等 )	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等(第1号、第2号、第4号該当者等)	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進体制の整備</li> <li>・ 主要設備等の保全理</li> <li>・ 廃熱回収設備の保全理</li> <li>・ 事務所等の空気調和の管理</li> <li>・ 照明設備の運用管理</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進体制の整備 エネルギー管理体制を整備し、毎月エネルギー使用実績、活動状況等を報告し組織全体の省エネルギー工場に努めた</li> <li>・ 主要設備等の保全理 焼却炉の保全に努め、またメンテナンス時には必要な耐火材補修を行いエネルギー効率の向上を図った。</li> <li>・ 廃熱回収設備の保全管理 メンテナンス時にボイラー水干清掃を実施し、発電量の向上を図った。</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進体制の整備 エネルギー管理体制を整備し、毎月エネルギー使用実績、活動状況等を報告し組織全体の省エネルギー工場に努めた</li> <li>・ 主要設備等の保全理 焼却炉の保全に努め、またメンテナンス時には必要な耐火材補修を行いエネルギー効率の向上を図った。</li> <li>・ 廃熱回収設備の保全管理 メンテナンス時にボイラー水干清掃を実施し、発電量の向上を図った。</li> </ul>
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	<p>廃熱を利用した自家発電量の増大を図り、外部に供給する。  平成22年度～平成24年度の合計目標  <math>3,600,000 \text{ Kwh} \times 0.000418 = 1,504 \text{ t} - \text{CO}_2</math>の削減に貢献する。</p>
第1年度	<p>廃熱を利用した自家発電量を行い余剰電力を外部に供給した。  平成22年度実績  <math>3,041,800 \text{ Kwh} \times 0.000418 = 1,271 \text{ t} - \text{CO}_2</math>の削減に貢献した。</p>
第2年度	<p>廃熱を利用した自家発電を行い余剰電力を外部に供給した。  平成23年度実績  <math>1,094,600 \text{ Kwh} \times 0.000418 = 457 \text{ t} - \text{CO}_2</math>の削減に貢献した。</p>
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入の推進</li> <li>・川崎温暖化対策会議（CC川崎エコ会議）への参加</li> </ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品に対してグリーン購入の推進を行った。</li> <li>・川崎温暖化対策会議（CC川崎エコ会議）に入会した。</li> </ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品に対してグリーン購入の推進を継続して行った。</li> <li>・川崎温暖化会議（CC川崎エコ会議）に参加した。</li> </ul>
第3年度	

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績(排出係数反映)

## (1) 事業者単位

## ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	4,825	t-CO <sub>2</sub>
(調)	4,047	

## (2) 事業所等单位(第1号、第2号該当者等)

ア 年間の原油換算I礼キ<sup>\*</sup>-使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算I礼キ<sup>\*</sup>-使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算I礼キ<sup>\*</sup>-使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	

## (3) 事業所等单位(第4号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が3,000t以上(二酸化炭素の場合はI礼キ<sup>\*</sup>-使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
エヌエスユシロ(株)	川崎市川崎区扇町6-12	8822	産業廃棄物処理業	4,825 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が3,000t未満(二酸化炭素の場合はI礼キ<sup>\*</sup>-使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の数

事業所数	
------	--